

報道機関各位

令和8年6月 12 日

戦争体験者から受け継いだ実話の『伝承講話』から、
セリフがないアニメーション作品『Flow』上映&感想シェア会まで
想像力をもって、いのちを感じる日に。
くにたち平和の日、くにたち平和推進週間

市は、市の条例「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」にて定めた「くにたち平和の日(6月21日)」および「くにたち平和推進週間(6月21日～27日)」に市民の平和意識を醸成するため、毎年この時期を中心に平和や人権に関する企画を実施しています。

今年度は、「想像力～いのちを感じる～」をテーマに、見て、聴いて、感じて、想像して、コトバにして、それぞれの「平和」を探す企画を実施します。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。
概要や各企画の詳細は、別添の補足資料等や市ホームページをご参照ください。

6月20日(土) FSX ホール実施企画



くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話
当日は『東京大空襲』『長崎原爆』のお話。



上映作品:アニメーション映画『Flow』。
上映後の感想シェア会は手話通訳付き。
車いす、ベビーカーでの入場も可。

その他、子どもから大人までさまざまな方が平和と向き合える企画を実施します。



◀市ホームページ
「くにたち平和の日」。

※映画『Flow』に関する各種画像は、当市の市報・ホームページ(SNS 含む)・チラシでの告知用に利用許諾を得ています。当該画像や当該画像が含まれた市報等の画像の利用について、当市は許諾を行うことはできかねます。あらかじめご了承ください。

問い合わせ

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係
TEL042-576-2111 内線(219)

令和8年度「くにたち平和の日」「くにたち平和推進週間」イベント

■名称・時期

くにたち平和の日：毎年6月21日

くにたち平和推進週間：毎年6月21日～27日

■実施概要等

1. 令和8年度テーマ 「想像力 ～いのちを感じる～」

意図 当市在住の戦争体験者からあった「想像力といのちの大切さ」の話をもとに、想像力をもって命の大切さを感じられれば、戦争を含む争いや貧困・飢餓・抑圧、搾取、暴力、差別等がない平和な状態がつかれる（平和に近づくことができる）という意味を込めて今年度テーマとしました。

2. 実施企画 (1) くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者定期講話…①

(2) アニメーション映画「Flow」上映&感想シェア会「上映作品から感じる平和」…①

(3) 戦争体験関連パネル展示…①

(4) 市民戦争体験者証言映像上映・パネル展示…②

(5) 本から平和（ピース）…③

(6) 「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」募集…④

3. 開催日 ① 令和8年6月20日（土）午前10時～午後4時30分 ※パネル展示は11時30分より

② 令和8年6月22日（月）～26日（金）開庁時間に準ずる

③ 令和8年6月17日（水）～29日（月）午前9時30分～午後7時

※毎火曜日休館

④ ～令和8年9月2日（水）必着（募集期間）

4. 場所 ① F S Xホール ホールおよびエントランスホール

② 市役所 市民ロビー

③ くにたち中央図書館 1階

5. 申し込み ① WEB フォーム、電話、メール、来庁対応

②③ 申し込み不要

④WEB フォームまたはメール、郵送、市役所窓口 31 番持ち込みで応募

【各 WEB フォーム】

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話：<https://logoform.jp/f/Uaogx>

映画『Flow』上映&感想シェア会：<https://logoform.jp/f/dkmSB>

「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」応募：<https://logoform.jp/f/G1t6D>

6. 内容・詳細

(1) 【午前】くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者定期講話

国立市在住の戦争体験者から聞き取った体験と平和への思いを、「事実を曲げない」「捏造しない」ことを原則に、伝承者自身の感性と生の言葉でストーリーを組み立ててお話しします。市が育成・委嘱した30代～80代の伝承者が、人から人へ、体験者のコピーではない語りを行います。

- ・日時：6月20日（土）午前10時～東京大空襲の講話/午前11時～ 長崎原爆の講話
- ・場所：F S Xホール ホール
- ・定員：50名（50名以上は後部固定座席にて聴講可）
- ・参加者：市民ほか（年齢、在住地区問わず）
- ・参加費等：無料、途中入退場可、申込優先

(2) 【午後】アニメーション映画「Flow」上映&感想シェア会「上映作品から感じる平和」

- ・日時：6月20日（土）午後1時30分～（ホール開場：午後1時）
一部：作品上映 午後1時30分～3時15分（予定）
二部：感想シェア会 午後3時30分～最大4時30分（予定）
- ・場所：F S Xホール ホール
- ・定員：250名
- ・参加者：市民ほか（年齢、在住地区問わず）
- ・参加費等：無料、途中入退場可、申込優先

■上映作品：『Flow』概要 ※セリフのない映画。音声は、動物の鳴き声と音楽・効果音のみ。
＜あらすじ＞：世界が大洪水に包まれ、今にも街が消えようとする中、ある一匹の猫は居場所を後に旅立つ事を決意する。流れて来たボートに乗り合わせた動物たちと、想像を超えた出来事や予期せぬ危機に襲われることに。しかし、彼らの中で少しずつ友情が芽生えはじめ、たくましくなっていく。彼らは運命を変える事が出来るのか？そして、この冒険の果てにあるものとは？
（映画『Flow』公式ホームページより）

■感想シェア：上映作品から感じる平和（映画鑑賞後の感想シェア会）※手話通訳付き
映画鑑賞後、参加者がともに感想をコトバにし、聴き合うことで、参加者自身が思う平和への気づき、他者が思う平和を知り、市が考える平和を知ってもらうことで、それぞれの「平和」を見つける時間を目指します。感想等の発表は自由です。

2024年製作／85分／G／ラトビア・フランス・ベルギー合作
監督：ギンツ・ジルバロディス / 配給：ファインフィルムズ

受賞歴等

- ・第97回アカデミー賞 長編アニメ映画賞（2025年）
- ・第82回ゴールデングローブ賞 アニメ映画賞（2025年）
- ・第52回アニー賞 長編インディペンデント作品賞、脚本賞（2025年）
- ・映倫：G 文部科学省選定（青年/成人/家庭向き） 等

(3) 戦争体験関連パネル展示

市にゆかりのある戦争体験者による『朗読音声付き戦争体験談パネル』や、「一橋いしぶみの会」が一橋大学新聞部とともに同大学戦没者の生涯を調査しまとめた『戦没一橋生のパネル』を展示します。

- ・日時：6月20日（土）午前11時30分～午後4時30分
- ・場所：FSX ホール エントランスホール
- ・協力：一橋いしぶみの会

(4) 市民戦争体験者証言映像上映・パネル展示

市民戦争体験者の戦争体験関連のパネルや証言映像を展示します。

- ・日時：6月22日（月）～26日（金）開庁時間に準ずる
- ・場所：市役所 1階 市民ロビー

(5) 本から平和（ピース）

中央図書館司書が選んだ平和に関する資料を展示します。

- ・日時：6月17日(水)～29日(月) 午前9時30分～午後7時 ※毎火曜日休館
- ・場所：くにたち中央図書館1階

(6) 「原爆の日を忘れないための一行のコトバ」募集

「8月6日と8月9日、原爆の日を忘れないための一行のコトバ」を募集・選考し、「ふつうの日になったのか 原爆の日」展と題して、選出作品を市内に展示します。本企画は、2012年から10年以上にわたり実施しています。

必要事項：①一行のコトバ（1人1点、未発表作品） ②氏名・ふりがな ③年齢

④電話番号等の連絡先 ⑤匿名・年齢非公表を希望の場合はその旨を明記。

応募媒体：応募フォーム、メール、郵送、持参

募集期限：9月2日(水)必着

※「ふつうの日になったのか 原爆の日」展：令和9年1月、公民館にて開催予定

▶その他、市報6月5日号もあわせてご参照ください。

※映画『Flow』に関する各種画像は、当市の市報・ホームページ（SNS含む）・チラシでの告知用に利用許諾を得ています。当該画像や当該画像が含まれた市報等の画像の利用について、当市は許諾を行うことはできかねます。あらかじめご了承ください。

【参考】

国立市が掲げる平和とソーシャル・インクルージョン

当市は、2019 年 4 月 1 日に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」を制定しました。本基本条例では、人権と平和を市のあらゆる施策の根幹として位置づけ、「ソーシャル・インクルージョン(注)」の理念のもと、互いの人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくりをめざしています。

平和とは、戦争や争いのない状態であることだけでなく、あらゆる暴力や差別、貧困、人権侵害などのない状態、かつ他者への共感、相互の協力、対話といった行動が存在している状態であると考えます。国立市平和都市宣言の理念を改めて実現していく決意で市民の皆様の命と日常の暮らしを守ることを誓い、これからの平和施策に市民の皆様とともに取り組んでまいります。

(注)「ソーシャル・インクルージョン」とは、すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合い共に生きることです。

くにたち平和の日、くにたち平和推進週間

当市は、平和への意思を広く発信していくため、2000 年 6 月に「国立市平和都市宣言」を制定し、10 年目にあたる 2010 年には「平和首長会議」に加盟しました。

2016 年、同宣言の理念に基づき、市民の暮らしと命を守るまちを実現するために、同宣言の告示日である 6 月 21 日を「くにたち平和の日」と定めるとしました。

2019 年に制定した「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」の中に、6 月 21 日を「くにたち平和の日」、6 月 21 日から 27 日までの 1 週間を「くにたち平和推進週間」と明記し、毎年この期間内に平和や人権に関する事業を実施しています。

国立市平和都市宣言

暮らしの安心は平和な社会が前提であることから、再び戦争を引き起こさないため、戦争の悲惨さを忘れないため、平和への願いと尊さを次世代に伝え、一人ひとりが平和について考えることが大切だとし、市民公募・選考会を経て 2000 年 6 月 21 日に制定しました。

(国立市平和都市宣言 全文)

世界では、いまだに戦争が絶えず、核兵器使用の脅威はいぜんとして消えていません。

私たちは、世界で最初の核被爆国の市民として、世界の平和の実現のために努力していく責任があります。

この世に、「正しい戦争」などというものはありません。

地球上に、もうこれ以上の血を流してはなりません。

私たちは、あらためてこれまでの戦争と暴力のなかにたおれた多くのひとびとの悲しみと苦しみを思い、自由で平和な世界の実現のために力をつくします。

新しい千年紀にあたり、私たち国立市民は、平和への強い意思を世界中のひとたちに高らかに宣言します。

2000 年 6 月 国立市
以上